

## 平成30年度第2回廃棄物減量等推進審議会で頂いた主な意見

1. クリーンセンターを利用する3市町は同じところを利用しているので、同じくらいの料金であってほしい。  
まず、クリーンセンターの中で協議がなされてほしい。
2. なるべく平等にというところもあるが、これだけかかるからこれだけプラスしてくださいというのは、もう少し広く市民にアピールしてからの値上げでないと市民も納得できないのではないかと思う。
3. クリーンセンターも建て替えになる。それで、ゴミを減らそうとか言っているが、何でも平等というのはおかしいと思う。  
若い人もシビアになっている。ある人は毎回出しているかもしれないが、何も使っていない人は、人の分まで税金を払う。だったら、やはり、自分のごみは自分でお金を出した方がいいと感じる。  
平等になるためには、楽なものはないと思う。必要な場合自分もお金を出す自分のことは自分で出す。若い人がこれから増えるかわからないがそういうまちになってほしいと思う。  
やはり、サービスがあるところは税金もちゃんと取られているかなと思う。
4. 手数料の改定だけでなくごみを減らしていくことを市民にも周知していくような考えも出せるとよい。
5. 受益者負担100%というのは納税者の立場として理解できる。逆にそれが十分に納得できる説明が必要だと思う。  
それをいろいろな媒体を通じて説明でき、それで納得いただければ一番良い。
6. ごみの削減について、ごみを排出しなければ受益者負担はないので、廃棄しないことによって、市の税金が他に有効活用できる、そういう皆さんがポジティブに捉えられるようなことを、広報の紙面等で皆さんに少しずつ周知していくことが必要。  
がちがちの料金を示す前に、ごみの削減とか、分別とか市の取り組みをPRできると、たぶん皆さんもごみの廃棄について少しずつ認識、頭の片隅に置いてもらうことにより、値上げについてのステップも少しずつ見ていただけることになると思う。
7. 会議に参加させていただいたので、こういう状況だというのは分かるが、意外とほかの方は350円出しているという気持ちもあると思うが、その他にも税金がかかっているということが、分かっていない方もいると思う。  
細かく資料を出していただいた上での金額だったら私は納得が行くので、きちんと理由が分かれば受け入れられると思う。

8. 従来と違って、高齢化、1人世帯、お年寄りで手続きが出来ない、下におろすこともできないというような配慮を今回の料金改定と合わせて支援を一層充実していくとあっていいのではないかと思います。
9. 周知の方法について、今情報化社会と言われる中で、相対、対面して情報を伝えるのは限度があるので、最近SNSを含めて各県、地域の行政もツイッター含めて、皆さんかなりやっている。そういう意味では目、耳から情報が入ってくる、得やすい社会になっている。そのようなことも幅広くやりながら行くのがよいと感じる。

#### その他の意見

- ・ゴミ一般の有料化について、可燃ごみ全体ではなく可燃ごみが1万トンくらいあって、40%ぐらいが生ごみでその8割が水。  
クリーンセンターに水を運んでいるようなもので非常に負担もかかるし損耗するので生ごみをモデル的にでも特定の小学校を対象に農家の協力も得て、たい肥化するようなことをやっていくのが大事。  
他の市町村では立派なたい肥を作っているところもあるので、市民に寄り合ってもらい議論したうえで方向性を決めていくということをおいおい考えてもいいのではないかと。